

「GX リーグ基本構想」への賛同について

株式会社日本旅行（本社：東京都中央区、代表取締役社長：小谷野悦光）は、経済産業省が提唱する「GX リーグ基本構想」について、その趣旨が当社の取り組みの方向性と合致するものであることから、この度 GX リーグ基本構想へ賛同することになりました。

当社が所属する J R 西日本グループでは、気候変動への対応を将来にわたっての事業継続のための重要な経営課題であると認識し、脱炭素社会の実現と SDGs の達成に貢献していくため、環境長期目標「J R 西日本グループゼロカーボン 2050」を策定し、2050 年にグループ全体の CO2 排出量「実質ゼロ」、また、その達成に向けた中間目標として、2030 年度に CO2 排出量 46%削減（2013 年度比）を達成することをめざして CO2 排出削減の取り組みを進めています。

「GX リーグ」とは、GX（グリーントランスフォーメーション）に積極的に取り組む「企業群」が、官・学・金融で GX に向けた挑戦を行うプレイヤーとともに、一体として経済社会システム全体の変革のための議論と新たな市場の創造のための実践を行う場として設立されるもので、経済産業省から基本構想が公表されました。その基本構想においては、企業自らの CO2 排出削減や自らに関連するバリューチェーンの CO2 排出削減への行動に加えて、生活者が自ら能動的な選択をできるような GX 市場の拡大に向け、「①生活者にとってのカーボンニュートラル時代の未来像のあり方の議論」、「②未来像を踏まえた、新たな GX 市場形成のあり方（ルールメイキング等）の議論」、「③社会での効率的な排出削減を行うための自主的な排出量取引の試行」といった取り組みが予定されています。

GX リーグ基本構想の趣旨は、当社の取り組みの方向性と合致するものであり、この度、GX リーグ基本構想へ賛同することといたしました。

日本旅行は、他の賛同企業等と共に脱炭素社会実現に向けた仕組みづくりに参画し、気候変動への対応をはじめとする地球環境保護の取り組みを行い、あわせて観光産業の基盤である地域資源に配慮した旅行商品を通し、お客様の行動変容を促すことで、より良い暮らしと脱炭素化を両立するライフスタイルの実現を目指してまいります。



Tourism for Tomorrow

「おもいやり」と「きずな」で
今、ツーリズムにできることを。



▼ 関連情報

GX リーグ基本構想について（経済産業省公式サイト）

https://www.meti.go.jp/policy/energy_environment/global_warming/GX-league/gx-league.html

このリリースに関するお問い合わせ先

株式会社日本旅行

秘書広報部 広報担当 TEL 03-6895-7860

東京都中央区日本橋 1-19-1 日本橋ダイヤビルディング 12 階